

勘定科目別・施設別比較分析表

行政サービスを提供している身近な単位である“課”や町田市が運営している“施設”の状況をより深くご理解いただくため、比較分析表を作成いたしました。

この比較分析表をご覧いただくことで、課や施設を相互に比較して、町田市ではどのようなところにコストをかけているかなどがわかります。各課・各施設の成果に関しては、該当ページのシートをご覧ください。

- 課単位では、行政費用の主な勘定科目ごとに2015年度と2014年度を比較して、大きな増減がある課について比較分析表を作成しています。

※複数の歳出目で構成されている課の場合は、増減のある歳出目を掲載しています。

<勘定科目別比較分析表>

- 「人件費」が増加・減少している課
- 「物件費」が増加している課
- 「維持補修費」が増加している課
- 「扶助費」が増加している課
- 「補助費等」が増加している課

- 施設単位では、各施設の状況を相互に比較できるように、「開館（運営）1日あたりコスト」を基準にして比較分析表を作成しています。

作成対象は、事業別行政評価シートの施設運営型と課別行政評価シートの所管施設がある課に該当する施設です。

<施設別比較分析表に掲載している項目>

- 開館（運営）1日あたりコスト
- 行政費用
- 行政収入
- 資産取得価額

（建物取得価額と重要物品取得価額、事業用資産の工作物取得価額の合計額です（土地を除く）。そのため、建物取得価額と事業用資産の工作物取得価額を足したものと資産取得価額が一致しない場合があります。）

- 資産老朽化比率
（資産取得価額が重要物品取得価額の場合、資産老朽化比率は「－」で表示しています。）
- 開館（運営）日数
- 延べ床面積
- 該当ページ

■ 勘定科目別比較分析表（人件費（増加））

金額単位：千円

No	課	増加額	2014年度		2015年度		主な増加理由	行政費用 に対する 人件費の割合	ページ
				うち時間外手当		うち時間外手当			
1	市政情報課 (統計調査費)	126,429	64,544	4,420	190,973	8,604	国勢調査において1,400人を超える調査員を任用し、調査員報酬が増加したこと、国勢調査実施事務に対応するための増員のため。	78.4%	P 496
2	建築開発審査課	77,425	195,855	10,550	273,280	17,222	組織改正を行ったことにより、都市計画情報の閲覧照会業務や建築物等維持保全促進事務等が新たに所掌事務となったため。	79.2%	P 424
3	市民課 (市民窓口費)	30,358	392,401	28,661	422,759	36,601	社会保障・税番号制度開始に伴う職員時間外手当の増加、及び嘱託員、臨時職員の人件費増加のため。	65.7%	P 328
4	管財課	30,010	194,162	13,572	224,172	13,625	教育委員会車両の管理統合による自動車運転職の増員のため。	65.3%	P 506
5	納税課	28,537	307,574	14,704	336,111	14,900	公債権対策係を新設したことによる常勤職員2名の増員、再任用職員1名および嘱託員を2名増員したため。	47.6%	P 520
6	市民税課	28,261	367,188	35,507	395,449	42,411	特別徴収の推進、マイナンバー制度の対応のための増員と、軽自動車税などの税制改正に対応するための時間外勤務が増加したため。	75.5%	P 516
7	障がい福祉課	26,790	376,629	32,132	403,419	35,142	従事人員の変動により、常勤職員が2名増加したため。	3.4%	P 166
8	議会事務局	26,698	627,489	1,908	654,187	4,141	共済給付金の給付に要する費用に係る負担金率の変更により、議員共済負担金が増加したため。また、議員の役職改選や建設常任委員会公聴会に伴う事務により職員の時間外勤務手当が増加したため。	89.1%	P 534
9	児童青少年課 (児童青少年費)	25,851	405,960	24,963	431,811	21,290	5 館目の子どもセンター開館準備要員として2名の増員があったため。	23.6%	P 42
10	公園緑地課	22,444	369,278	18,212	391,722	19,334	主要公園の事業の進捗によって、人員が増加したため。	18.6%	P 426
11	情報システム課	20,369	171,132	17,055	191,501	22,143	社会保障・税番号制度対応に伴う業務の増加により、職員数が21人から22人となったため。	9.1%	P 498
12	住宅課	19,245	53,813	3,624	73,058	6,339	組織改正に伴い、他の歳出目（建築指導費）で計上していた緊急輸送道路沿道建築物の耐震関連等に係る人件費を統合したため。	9.7%	P 420
13	都市政策課	14,512	145,075	10,861	159,587	15,691	常勤職員の増員および南町田駅周辺地区拠点整備事業の事業化検討が本格化したことによる業務量増加に伴い、時間外勤務手当が増加したため。	67.2%	P 408
14	堺市民センター	13,053	62,841	1,692	75,894	2,551	従事職員の構成が変わったこと、及び産休に入った職員に対し正規職員が配置されたため。	54.0%	P 348
15	教育センター	12,900	370,375	4,051	383,275	7,425	教育相談件数の増加により、教育相談嘱託職員の時間外勤務時間数が増加したため。また、職員の時間外勤務時間数が増加したため。	47.0%	P 108

■ 勘定科目別比較分析表（人件費（減少））

金額単位：千円

No	課	減少額	2014年度		2015年度		主な減少理由	行政費用 に対する 人件費の割合	ページ
				うち時間外手 当		うち時間外手 当			
1	保健給食課	△ 88,772	1,355,326	22,558	1,266,554	24,838	小学校給食調理業務委託を6校に導入したことに伴い、直営校の嘱託員数が減少したため。	69.1%	P 100
2	施設課	△ 82,248	195,984	3,045	113,736	6,649	学校用務作業班廃止により従事する職員数が減少したため。	4.3%	P 90
3	高齢者福祉課	△ 58,405	344,613	19,000	286,208	7,959	組織改正による給料、共済費、職員手当の減少等のため。	28.3%	P 192
4	職員課	△ 48,284	453,483	39,099	405,199	29,702	庶務事務システム導入、職員人材育成基本方針策定、特定事業主行動計画策定、専任職制度構築などの終了に伴い、減員及び時間外勤務が減少したため。	76.3%	P 490
5	図書館 (図書館費)	△ 36,131	877,054	41,430	840,923	28,201	忠生図書館開館準備・ICタグ導入及びシステム更改完了により、常勤職員・再任用職員の減員及び時間外勤務が減少したため。	63.0%	P 134
6	生活援護課	△ 30,453	654,350	49,567	623,897	36,457	常勤職員数の減少により常勤職員人件費が減少したため。	4.5%	P 162
7	資産税課	△ 25,167	370,787	27,586	345,620	17,748	常勤職員が1名減少したことや、時間外勤務の削減のために業務の前倒しを行ったため。	77.5%	P 518
8	子ども総務課	△ 22,209	192,829	9,418	170,620	9,491	子ども・子育て支援新制度準備事務の終了及び同制度開始による部内の人員調整により、職員数が減少したため。	1.4%	P 40
9	資源循環課	△ 21,201	631,625	23,729	610,424	22,985	常勤職員が年度途中で退職したこと及び、時間外勤務が減少したため。	14.3%	P 364
10	道路用地課 (用地管理費)	△ 20,093	173,798	4,431	153,705	7,104	人事異動に伴う職員構成の変動のため。	77.0%	P 386
11	営繕課	△ 19,775	313,677	22,363	293,902	14,893	常勤、再任用職員（短時間）が各1人増員となった一方で、再任用職員（フルタイム）が2人減員、臨時職員が1名減員となったため。また、時間外縮減の取組を行ったため。	86.5%	P 512
12	建設総務課 (建設管理費)	△ 18,229	85,213	2,427	66,984	1,638	管理職及び再任用職員が2名減少したため。	92.5%	P 378
13	工事品質課	△ 10,958	50,811	56	39,853	0	常勤の配置職員2名を再任用職員としたため。	96.3%	P 500
14	保険年金課 (後期高齢者医療事業会計)	△ 9,367	114,173	6,451	104,806	6,547	人事異動に伴う職員構成の変動のため。	1.1%	P 190
15	庁舎活用課	△ 8,966	95,683	4,565	86,717	3,621	常勤職員が1名減少したことや、事務分担の見直しにより時間外勤務の削減を行ったため。	11.7%	P 510

■ 勘定科目別比較分析表（物件費）

金額単位：千円

No	課	増加額	2014年度		2015年度		主な増加理由	行政費用 に対する 物件費の割合	ページ
				うち委託料		うち委託料			
1	児童青少年課 (児童青少年費)	88,827	1,042,684	1,000,466	1,131,511	1,069,047	子どもセンターまあち、子どもセンターばお分館の初度調分費用があったため。	61.8%	P 42
2	介護保険課 (介護保険事業会計)	77,935	770,157	678,924	848,092	757,307	高齢者人口増や地域ケア会議等の業務増分に対応するため地域包括支援センター運営事業委託料が増加したため。認定申請者数増による認定調査委託料、主治医意見書作成委託料が増加したため。	3.0%	P 214
3	3 R 推進課	58,493	1,618,842	1,529,279	1,677,335	1,595,523	可燃物収集運搬業務委託の契約更新（債務負担行為への移行）により委託料が増加したため。2015年度から新たに容器包装プラスチックの分別収集が開始したため。	62.1%	P 372
4	保健給食課	57,274	374,043	167,020	431,317	264,282	小学校給食調理業務委託の導入にあたり、6校分の委託料が新たに発生したため。	23.5%	P 100
5	文化振興課	51,438	390,009	355,568	441,447	404,606	ポプリホールとフォトサロン指定管理料が減少した一方、市民ホール指定管理料が増加、工芸美術館基本設計業務委託料、文化芸術ホール基本構想策定支援業務委託料が発生したため。	55.7%	P 240
6	障がい福祉課	42,282	492,448	483,364	534,730	525,785	市内5地域に「障がい者支援センター」を開設したため。	4.5%	P 166
7	市政情報課 (統計調査費)	34,659	5,026	1,188	39,685	31,749	国勢調査を実施するにあたり、調査票の審査業務、コールセンター業務、調査用品の発送業務等を委託し、委託料が増加したことに加え、使用賃借料や消耗品費も増加したため。	16.3%	P 496
8	情報システム課	24,458	1,836,291	791,048	1,860,749	962,489	社会保障・税番号制度対応に伴うシステム整備内容の増大により、委託料が増加したため。	88.4%	P 498
9	道路整備課 (街路整備費)	21,711	29,300	28,904	51,011	50,544	(仮称)都計道3・4・20号線（下小山田）築造事業、都計道3・4・22号線（小野路）築造事業において、道路予備設計業務委託や3次元計測による測量業務委託を行ったため。	10.6%	P 392
10	下水道管理課	21,314	347,662	324,676	368,976	339,666	労務単価等の上昇に伴う各委託料の増加及び下水道管渠の新たな維持管理方法（アセットマネジメント）の導入に向け、点検項目が増えたことで維持管理業務委託料が増加したため。	5.5%	P 448
11	保険年金課 (国民健康保険事業会計)	21,048	914,105	810,771	935,153	813,640	隔年で実施する被保険者証の一齐更新により、国民健康保険被保険者証更新業務委託料や被保険者証の発送に伴う郵便料が増加したため。	1.8%	P 188
12	交通事業推進課	20,421	20,925	20,385	41,346	39,235	2014年度と比べ委託件数が2件増加したため。また、委託業務1件当たりの委託料が増加したため。	19.5%	P 412
13	環境政策課 (資源化政策費)	11,336	9,593	8,051	20,929	15,494	新たな熱回収施設の建設に向け、周辺調査を行ったため。また、横浜線以南地区で容器包装プラスチック分別収集開始を周知する「資源とごみの出し方ガイド」の配布を行ったため。	16.3%	P 356
14	保険年金課 (後期高齢者医療事業会計)	9,959	422,629	380,288	432,588	403,305	被保険者数の増加に伴う健康診査受診者数の増加により、後期高齢者医療健康診査委託料が増加したため。	4.7%	P 190
15	スポーツ振興課	9,933	569,987	522,429	579,920	535,426	指定管理者が実施した成瀬クリーンセンターテニスコートの改修の経費の一部を、体育施設指定管理料として市が負担したため。	57.3%	P 250

■ 勘定科目別比較分析表（維持補修費）

金額単位：千円

No	課	増加額	2014年度	2015年度	主な増加理由	維持補修比率※	資産老朽化比率	ページ
1	公園緑地課	83,845	122,710	206,555	薬師池水質改善工事を行ったため。	2.4%	31.7%	P 426
2	道路整備課 (道路整備費)	56,993	133,907	190,900	歩道整備事業（忠生33号線（地蔵尊）、南54号線外2路線）において、規模が大きい工事請負が増加したため。	—	—	P 390
3	児童青少年課 (児童青少年費)	53,098	20,329	73,427	子どもセンターただONプレイルームの天井の修繕を行ったことと学童21保育クラブ分室の整備を行ったため。	4.3%	21.3%	P 42
4	交通事業推進課	47,433	2,863	50,296	玉川学園コミュニティバス走行環境整備を行ったため。	—	—	P 412
5	道路整備課 (街路整備費)	21,199	75,000	96,199	都計道3・4・49号線（相原町）築造事業、都計道3・4・37号線（鶴間）築造事業において、規模が大きい工事請負が増加したため。	—	—	P 392
6	水再生センター	18,142	209,674	227,816	設備の老朽化による修繕規模の拡大や突発的な故障により、施設修繕料が増加したため。	0.4%	75.9%	P 454
7	北部丘陵整備課	17,844	21,131	38,975	農道工事件数が増加したため。	—	—	P 292
8	障がい福祉課	15,355	13,959	29,314	町田ゆめ工房改修工事や、町田リクス園通路改修工事などを実施したため。	1.9%	55.9%	P 166
9	産業観光課 (商工業振興費)	10,081	51,790	61,871	町田ターミナルプラザのターミナル棟の外壁修繕工事を行ったため。	2.7%	62.7%	P 270
10	高齢者福祉課	6,789	10,221	17,010	漏水や外壁等防水改修工事、シャッター故障等により、指定管理施設やふれあい館における修繕費が増加したため。	0.4%	38.6%	P 192
11	ひかり療育園	4,247	1,491	5,738	施設の老朽化対策として、空調設備改修工事、照明器具改修工事、天井改修工事などを実施したため。	1.0%	49.2%	P 180
12	生涯学習センター	3,562	21,953	25,515	生涯学習センターが入居している町田センタービルの外壁修繕工事を行ったため。	3.2%	29.6%	P 132
13	小山市民センター	2,339	2,020	4,359	ホールの照明、非常用発電設備、湧水ポンプが故障したこと等により、修繕・交換工事を行ったため。	0.3%	42.2%	P 350
14	市民課 (玉川学園駅前連絡所費)	1,927	708	2,635	老朽化により、給水ポンプの更新や2階天井部分の雨漏れ修繕など比較的大規模な修繕を行ったため。	1.1%	56.6%	P 334
15	すみれ教室	1,310	3,222	4,532	建物の老朽化（1983年3月竣工）に伴い、施設設備の緊急修繕等が増加したため。	0.4%	65.4%	P 76

※維持補修比率・・・2015年度決算における資産取得価額に対する、維持補修費の割合です。

■ 勘定科目別比較分析表（扶助費）

金額単位：千円

No	課	増加額	2014年度	2015年度	主な増加理由	2015年度 行政収入	行政費用 に対する 扶助費の割合	ページ
1	障がい福祉課	776,340	8,941,954	9,718,294	事業所の新規開設等により、障害福祉サービス・障害児通所サービス利用者が増加したため。	8,652,419	81.5%	P 166
2	生活介護課	409,089	12,523,354	12,932,443	入院件数及び日数の増加等により医療扶助費が増加したため。	10,403,867	92.6%	P 162
3	高齢者福祉課	2,438	169,673	172,111	老人ホームへの措置入所者数増加により、老人ホームの措置にかかる施設措置費が増加したため。	161,203	17.0%	P 192

※扶助費については、該当課が少ないため、増額上位3課を掲載しています。

■ 勘定科目別比較分析表（補助費等）

金額単位：千円

No	課	増加額	2014年度	2015年度	主な増加理由	行政費用 に対する 補助費等の割合	ページ
1	保険年金課 (国民健康保険事業会計)	6,450,849	43,527,442	49,978,291	保険財政共同安定化事業拠出金及び同交付金の事業対象の拡大により、保険財政共同安定化事業拠出金が増加したため。	97.4%	P 188
2	介護保険課 (介護保険事業会計)	722,732	26,156,326	26,879,058	要介護認定者数が増加し、介護サービスの需要が高まったことにより、居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費などが増加したため。	94.9%	P 214
3	障がい福祉課	355,903	772,432	1,128,335	医療的ケアを必要とする重度障がい者通所施設整備に対する補助を実施したことや、翌年度精算の国庫・都支出金返還金が増加したため。	9.5%	P 166
4	保険年金課 (後期高齢者医療事業会計)	237,672	8,365,617	8,603,289	被保険者数の増加や被保険者一人あたり医療費の増加等により、広域連合納付金が増加したため。	94.0%	P 190
5	産業観光課 (商工業振興費)	203,210	436,172	639,382	地域活性化・地域住民等緊急支援助交付金（地域消費喚起・生活支援型）を活用した、町田市プレミアム付商品券発行事業を行ったため。	55.8%	P 270
6	住宅課	156,620	174,309	330,929	大規模な緊急輸送道路沿道建築物の耐震改修等補助の実施や、組織改正に伴い、他の歳出目（建築指導費）で計上していた緊急輸送道路沿道建築物の耐震関連補助費を統合したため。	43.8%	P 420
7	道路整備課 (街路整備費)	119,254	118,095	237,349	東京都の受託事業である、都計道3・4・38号線（木曽東）の規模が大きい補償等が増加したため。	49.2%	P 392
8	市民課 (市民窓口費)	117,535	5,049	122,584	法定受託事務として個人番号カードの交付が始まり、カードの作成を地方公共団体システム機構に委任。その費用を交付金として支出したため。	19.0%	P 328
9	下水道総務課	74,107	154,854	228,961	下水道事業の納税分の消費税が税率変更されたことにより増額したため、また、流域下水道維持管理負担金が、年間処理水量の増加に伴い増額となったため。	25.9%	P 440
10	納税課	40,386	229,132	269,518	法人市民税および市民税・都民税に係る還付が増加したため。	38.1%	P 520
11	農業振興課	38,356	45,377	83,733	2014年2月に発生した雪害による補助金（被災農業者向け経営体育成支援事業助成金）を交付したため。	40.9%	P 284
12	生活援護課	20,592	279,982	300,574	生活保護費国庫負担金返還金が増加したため。	2.2%	P 162
13	防災安全課 (防災対策費)	19,932	4,477,780	4,497,712	水道管の老朽化に伴う消火栓の再整備により、消火栓管理費補償金が増加したため。	88.2%	P 320
14	都市政策課	16,865	10,782	27,647	南町田駅周辺地区拠点整備事業の事業化検討が本格化したことにより、負担金が増加したため。	11.6%	P 408
15	道路補修課	15,972	1,955	17,927	川崎市へ移管する新三輪橋の補修工事を行ったため。	1.1%	P 394

■施設別比較分析表（1/5）

金額単位：千円

No	施設名称	開館（運営） 1日あたりコスト	行政費用	行政収入	資産取得価格	資産老朽化 比率	開館（運営） 日数	延べ床面積	ページ
1	町田リサイクル文化センター	7,132	2,603,145	1,120,808	16,540,677	56.6%	365	54,958㎡	P 366
2	成瀬クリーンセンター	4,966	1,817,564	1,969,186	36,848,901	75.9%	366	46,230㎡	P 456
3	鶴見川クリーンセンター	3,790	1,387,159	1,559,474	23,879,758	75.8%	366	29,001㎡	P 458
4	町田市庁舎	2,797	743,890	53,495	13,992,172	8.3%	266	41,510㎡	P 510
5	中央図書館	1,973	591,773	6,207	1,363,658	48.5%	300	5,968㎡	P 136
6	町田市立総合体育館	1,273	427,663	121	7,313,225	54.2%	336	24,767㎡	P 252
7	町田市立国際版画美術館	1,229	282,595	15,286	3,840,418	30.0%	230	7,840㎡	P 264
8	すみれ教室	1,138	385,818	77,412	1,080,357	65.4%	339	3,618㎡	P 76
9	町田市障がい者福祉センター ひかり療育園	969	237,300	63,705	592,408	49.2%	245	1,532㎡	P 180
10	町田市立室内プール	758	250,270	0	3,009,701	52.1%	330	8,344㎡	P 254
11	鶴川緑の交流館	727	247,232	4,500	2,845,753	9.7%	340	4,568㎡	P 248
12	町田市民ホール	656	218,518	0	1,815,493	55.3%	333	6,651㎡	P 246
13	町田市民フォーラム	602	216,843	11,643	2,476,559	32.5%	360	4,521㎡	P 304
14	町田市立博物館	581	130,168	4,517	139,000	86.0%	224	1,413㎡	P 242
15	大地沢青少年センター	575	177,176	11,161	1,763,982	54.8%	308	4,239㎡	P 78

■施設別比較分析表（2/5）

金額単位：千円

No	施設名称	開館（運営） 1日あたりコスト	行政費用	行政収入	資産取得価格	資産老朽化 比率	開館（運営） 日数	延べ床面積	ページ
16	鶴川市民センター	531	182,701	20,865	673,437	60.6%	344	2,610㎡	P 338
17	さるびあ図書館	512	148,530	1,746	142,436	80.2%	290	1,260㎡	P 138
18	忠生市民センター	497	178,825	18,893	1,470,847	5.0%	360	4,687㎡	P 336
19	わさびだ療育園	495	152,868	98,478	260,487	36.0%	309	678㎡	P 174
20	町田市民文学館ことばらんど	487	147,489	3,296	672,211	18.1%	303	2,156㎡	P 152
21	忠生図書館	468	165,787	180	—	—	278	1,266㎡	P 144
22	大賀藕絲館	456	114,063	93,174	464,066	50.7%	250	1,017㎡	P 172
23	町田ターミナルプラザ	451	165,136	71,308	1,054,115	84.2%	366	6,549㎡	P 278
24	なるせ駅前市民センター	445	160,354	20,082	913,169	40.2%	360	2,077㎡	P 346
25	町田市剪定枝資源化センター	439	136,041	12,966	473,703	27.8%	310	2,948㎡	P 370
26	町田市青少年施設 ひなた村	410	131,637	3,097	1,490,281	72.3%	321	2,281㎡	P 60
27	鶴川駅前図書館	409	122,630	122	—	—	300	1,344㎡	P 150
28	堺市民センター	390	140,446	9,499	805,572	66.2%	360	2,863㎡	P 348
29	小山市民センター	343	123,523	12,426	1,559,289	42.2%	360	2,788㎡	P 350
30	町田市自然休暇村	337	116,729	0	1,007,199	54.9%	346	2,874㎡	P 80

■施設別比較分析表（3/5）

金額単位：千円

No	施設名称	開館（運営） 1日あたりコスト	行政費用	行政収入	資産取得価格	資産老朽化 比率	開館（運営） 日数	延べ床面積	ページ
31	金森図書館	329	98,819	158	—	—	300	1,500㎡	P 142
32	南市民センター	313	112,556	15,039	652,249	58.3%	360	2,117㎡	P 342
33	授産センター （授産場、美術工芸館）	308	150,671	86,858	141,358	21.3%	489	1,563㎡	P 178
34	リレーセンターみなみ	307	52,721	0	832,258	49.7%	172	2,374㎡	P 368
35	木曾山崎図書館	275	82,384	66	113,400	43.1%	300	321㎡	P 146
36	子どもセンター「ただON」	255	75,025	978	409,114	7.1%	294	1,564㎡	P 52
37	堺図書館	249	74,570	44	—	—	300	430㎡	P 148
38	子どもセンター「つるっこ」	231	68,034	353	385,192	24.8%	295	1,601㎡	P 48
39	ふれあい桜館（小山田）	230	67,730	180	1,533,455	44.0%	295	1,074㎡	P 212
40	子どもセンター「ばあん」	216	63,629	268	477,792	36.6%	295	1,339㎡	P 46
41	子どもセンター「ばお」	210	61,931	393	434,091	14.9%	295	1,179㎡	P 50
42	鶴川図書館	203	60,995	51	—	—	300	260㎡	P 140
43	木曾山崎コミュニティセンター	193	69,508	10,641	799,450	56.1%	360	2,105㎡	P 332
44	自由民権資料館	193	58,063	520	374,327	42.9%	301	911㎡	P 130
45	原町田1丁目駐車場 原町田1丁目第2駐車場	192	70,387	88,231	478,140	90.6%	366	8,160㎡	P 282

■施設別比較分析表（4/5）

金額単位：千円

No	施設名称	開館（運営） 1日あたりコスト	行政費用	行政収入	資産取得価格	資産老朽化 比率	開館（運営） 日数	延べ床面積	ページ
46	南町田駅前連絡所	160	52,693	5,605	—	—	329	178㎡	P 344
47	町田駅前連絡所	157	51,908	22,990	—	—	330	109㎡	P 330
48	町田外アリア	134	33,551	0	197,319	67.4%	250	635㎡	P 168
49	考古資料室	133	9,810	0	131,142	50.6%	74	664㎡	P 128
50	プラザ町田 （町田市文化交流センター）	131	47,966	24,326	455,527	21.0%	365	4,134㎡	P 280
51	つくし野コミュニティセンター	127	15,032	1,411	249,900	37.7%	118	1,003㎡	P 312
52	鶴川駅前連絡所	124	38,293	8,465	—	—	309	67㎡	P 340
53	ふれあいいちよう館（鶴川）	117	34,088	176	157,538	49.5%	291	720㎡	P 204
54	小野路宿里山交流館	117	41,360	19,445	224,149	10.2%	354	475㎡	P 276
55	玉川学園コミュニティセンター	111	39,998	5,976	234,417	56.6%	360	595㎡	P 334
56	ふれあいまみじ館（金森）	110	32,362	143	103,778	62.9%	295	565㎡	P 202
57	ふれあいまっこく館（町田）	95	27,980	143	—	—	294	826㎡	P 206
58	子どもセンター「ばお」分館 （子どもひろば）	92	6,930	208	—	—	75	413㎡	P 54
59	三輪コミュニティセンター	88	30,785	5,016	315,996	29.5%	348	1,488㎡	P 310
60	ふれあいくぬぎ館（木曽山崎）	86	25,323	66	—	—	294	493㎡	P 208

■施設別比較分析表（5/5）

金額単位：千円

No	施設名称	開館（運営） 1日あたりコスト	行政費用	行政収入	資産取得価格	資産老朽化 比率	開館（運営） 日数	延べ床面積	ページ
61	わくわくプラザ町田	84	29,496	0	758,833	43.2%	353	1,491㎡	P 200
62	ふれあいけやき館（堺）	78	23,097	88	—	—	295	359㎡	P 210
63	木曽森野コミュニティセンター	58	20,352	3,992	—	—	348	1,000㎡	P 308
64	町田市ふるさと農具館	49	14,836	0	166,962	98.3%	305	390㎡	P 286
65	町田リス園	42	12,596	866	171,405	78.6%	297	594㎡	P 170
66	こころみ	21	5,415	272	104,804	95.2%	263	400㎡	P 176
67	町田市七国山ファーマーズセンター	19	5,557	0	30,985	91.7%	297	326㎡	P 288
68	成瀬コミュニティセンター※	—	17,871	0	495,179	65.2%	0	1,929㎡	P 306

※成瀬コミュニティセンターは建替等工事により休館中でした。